

冬までの期間が長い本年こそ 秋のほ場管理を徹底しよう

水田を変える
5つのStep

Step 1



わら鋤き込み 搬出

稲わらを搬出しよう！

- ・良食味（低タンパク）米の生産には、窒素の後効きの原因となる稲わらは不要です。
- ・いもち病が発生したほ場では、病原菌密度を低下させるためにも稲わらを搬出しましょう。
- ・地力の維持には、搬出・たい肥化してから施用します。

Step 2



「あぜ」を補修して、深水管理ができる水田に変身させよう！

冷害危険期の障害型冷害を軽減するためには、深水管理のできるしっかりとした十分な高さのあるあぜが欠かせません。

Step 3

溝切りを行って、排水を促進しよう！

溝切りで表面排水を促進することで、融雪後すぐに作業に入れるようになる。また、水田が乾きやすくなることによって地力窒素を引き出すことができる。

ただし、溝を切るだけでなく、落水口につなぐなどして、ほ場外に排水する工夫が欠かせません。

Step 5

土壌診断を活用し、施肥の適正化、コスト削減を目指そう！

安定多収・高品質米生産のためには、施肥の適正化も重要です。なお、土壌分析値は数年程度続けて利用することができます。

Step 4

心土破碎で春に乾く水田に変身させよう！

心土破碎施工のコツは、ほ場が乾いている時に、できるだけゆっくりと、です。

